

ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録¹

日 時：2021 年 12 月 21 日（火）10：00～15：00
場 所：日本銀行本店（電話会議）
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 松本委員長・委員・リエゾン・事務局
日本銀行 神山決済機構局長、森参事役 ほか

- 2021 年 12 月 21 日に開催された ISO/TC 68 国内委員会（以下、当委員会）総会の議事の模様は以下のとおり（詳細は当日配付資料を一部抜粋した別添資料を参照）。

開会挨拶

委員会委員長の松本横浜国立大学教授、日本銀行決済機構局の神山局長および森参事役が開会挨拶を行った。

- 松本委員長は、新型コロナ禍が続く中、今回も電話会議による開催となったが、総会では、前回以降、各国内作業部会の委員が資料を作成のうえ、発表する形式をとっており、アクティビティが活発化してきていると感じている。近年、TC 68 を始めとする国際標準化は様々な場面で重要性を増している。本日の報告も内容が盛りだくさんであるが、ぜひ闊達な議論をお願いしたい、と述べた。
- 神山局長は、世界の金融サービスを取り巻く環境は、デジタル化や DX²が一段と進んでいる。そうした中、システム間の相互運用性を向上させることや、機械が取引内容を理解して人を介さずに直接処理する「マシン・プロセスサブル」な環境を整えることが重要になっている。ISO/TC 68 の標準化活動の果たす役割はますます大きくなっていることを踏まえ、私ども日本銀行決済機構局として、国際標準化活動にしっかりと貢献してまいりたい、と述べた。
- 森参事役は、今回も総会資料の起案段階から各国内作業部会の委員の皆さまに多大なるご協力をいただいたことに御礼を申し上げる。本日も、対面開催とはならず電話開催となったが、事務局として円滑な委員会運営に努めていく。また、

¹ ISO（the International Organization for Standardization：国際標準化機構）/TC 68（金融サービス分野の専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

² Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略。

今後の委員会運営に向けて引き続き忌憚ないご意見・ご感想を事務局へお寄せ
いただきたい、と述べた。

1. ISO/TC 68 の報告

1-1. SC2、1-2. SC8、1-3. SC9、1-4. TC68

最近の ISO/TC 68 の動向について、TC 68 および同傘下の WG・SG・AG 毎に、各国内作業部会の取り纏め役（もしくは事務局）から、策定中のドラフトや規格について、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

2. 委員会審議

2-1. TC 68 国内委員会総会の議事録、TC 68 国内委員会運営規約の改正

2-2. TC 68 国際投票案件（2021 年 6 月 8 日総会からの進捗分、12 月 13 日時点）

事務局より、前回総会以降にメール審議を実施した国際投票案件の状況について席上で確認を行った³。

3. ISO/TC 68 関連の報告

3-1. ISO 20022 RMG

ISO 規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9 所管）の登録管理グループ（ISO 20022 RMG）および同傘下グループの SEG 等の動向について、田貝氏（ISO 20022 RMG Convenor）、橋本（日本銀行／RMG メンバー）、各 SEG 等のエキスパートから、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

3-2. ITU-T/Digital Currency Global Initiative

国際電気通信連合（International Telecommunication Union）・電気通信標準化部門（Telecommunication Standardization Sector）のデジタル通貨グローバル・イニシアティ

³ 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。
※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。

ブ（Digital Currency Global Initiative）が取り組んでいる研究に関して、葛城（日本銀行）から、概要・経緯・足許の進捗状況等の報告項目で説明が行われた。

4. リエゾンからの報告

4-1. ISO/TC 307（Blockchain and Distributed Ledger Technologies）

ISO/TC 307 国内審議委員会の鈴木委員より、TC 307 の最近の動向について報告が行われた。

4-2. ISO/IEC JTC 1⁴/SC 17（Cards and Security Devices for Personal Identification）

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の廣川委員長より、SC 17 の最近の動向について報告が行われた。

4-3. ISO/IEC JTC 1/SC 27（IT Security Techniques）

ISO/IEC JTC 1/SC 27 専門委員会の渡邊委員長より、SC 27 の最近の動向について報告が行われた。

4-4. ISO/IEC JTC 1/SC 37（Biometrics）

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の新崎委員長より、SC 37 の最近の動向について報告が行われた。

5. 事務局からのご連絡

5-1. 委員の異動（2021 年 6 月総会以降の変更、12 月 10 日時点）

5-2. 新型コロナウイルスの影響について（12 月 9 日時点）

5-3. 「ISO パネル（第 5 回）」の Webex 開催お知らせ

5-4. 次回総会の開催予定

次回の ISO/TC 68 国際会合は 2022 年 5 月、ISO 20022 RMG 国際会合は 2022 年 2 月 22 日および 5 月に開催される予定であること、また、ISO/TC 68 国内委員会総会は 2022 年 6 月 7 日に開催を予定していること等を連絡した。

以 上

⁴ ISO と IEC（International Electrotechnical Commission：国際電気標準会議）との合同技術委員会。